

バツイチ女教師は

今度は…  
なか腔内でね♡

おっぱい

体験版

俺に優しい

中出し専用穴♡



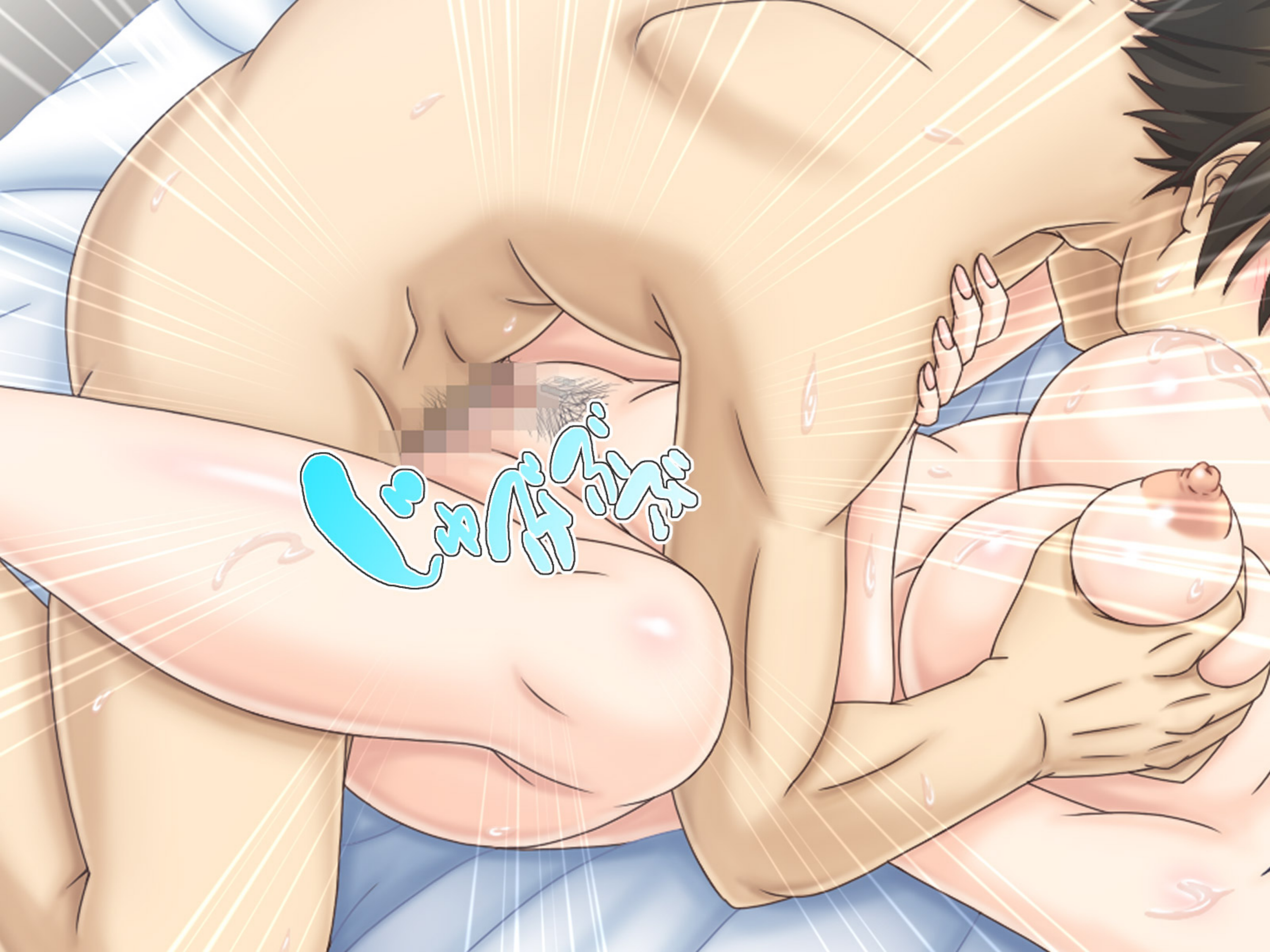


あまがみ堂









お風呂



ふあ…♡ 来る♡  
オチンポ…  
入ってくるぅ…♡  
んあああ♡

おっぱい

あぁ♡…はぁ♡  
あぁ♡…ん♡



いままで  
味わった事のない  
その未知の感覚…

あははははは

入っていく…いや  
飲み込まれていく…  
そんな感じがした



生まれて初めて味わう  
女の粘膜の感触…

膣の全方位から  
ギュツと温かくチンポが  
包み込まれている

ねっとり  
ヌメヌメした刺激が  
俺を激しく興奮させた

じゅわん



ううっこれが女性の…  
はあっはあっスゴイ…

あっ…  
あっ…

ええ…これが女性器…  
オマンコよ？ 秋生くん♡

おオマンコっ  
はあっはあ…

みぢゃ

むにゅ♡

はあ…  
はあ…



女性の…しかも美人の  
彼女の口から発せられた  
卑猥な単語に…

俺は かつて無いほどに  
勃起しているチンポを  
さらに充血させてゆく

みぢゃ

むにゅ♡

あっ…  
あぁっ…

はぁ…  
はぁ…





そしてこの女性は  
俺の恋人ではない

あっ……  
ああっ……

みぢゃ

そしてなぜ  
こんな事に  
なったかというと――

むにゅ  
にゅ♡

はあ……  
はあ……



んっ♡じやあ…ゆっくろ  
前後に動いてみて…??

あっ…

あっ…

でも  
抜けないように  
…ね?


みん

はあハア…はっ  
うっくうっく…

はあ…  
はあ…

んっ♡





俺は…エロ動画で見た  
光景を思い出しながら  
腰を動かそうとしてみた

だがこれが なかなか  
難しい…動きすぎると  
チンポが膣から  
抜けそうになる

んんん  
んんん



ふうはあ…んんっ  
クツ…んんくっ

そんな無様な俺を…  
彼女は慈愛の表情で  
見守ってくれた…

それに応える為にも  
俺は…尻に力を込め  
腰ごとチンポを  
押し込んでいく

んんんんんん  
んんんんんん




はああああんっ♡  
イイ…♡ 秋生くんの  
オチンポお♡

深いの♡ 奥に…  
当たってるのお♡  
はあん♡

だんご

こコレが…  
オマンコの  
一番…奥？





細い首をのけ反らせ  
彼女は激しく喘ぐ

だん

それは今日聞いた中で  
一番大きな媚声だった



あつ♡ ああつ んつ♡  
ひ…久しぶりだから  
…んあつ♡

ああ…オチンポ♡  
すぐく  
感じちやう…んあ♡

はあっ  
はあっ

じゅわん♡  
じゅわん♡

むにゅ♡  
むにゅ♡

あつ♡  
あつ♡  
あつ♡



彼女が感じている…  
俺の目の前で切ない  
声を上げながら  
乱れている

この体位ではどうしても  
結合部よりも彼女の  
顔に目が行ってしまう

だが逆に…彼女は  
俺の顔をジッと  
見つめ返してきた

しゅわん  
しゅわん  
しゅわん

あ  
ん  
ん  
ん

あ  
ん  
ん  
ん





はあん…秋生くん♡  
そっしょよ…？

そっしょ…  
なんでですか？

あ  
にゅ  
♡

うになつたら  
女性の事を見て  
あげないと…ダメ♡

あ…♡  
あ…♡





見られてると  
やっぱり恥ずかしい…  
でもね 安心感もあるの

そういうもの  
…ですか

あ  
ん  
ん  
♡

あ  
ん  
ん  
♡




そうよ…  
だから女性はね  
正常位が一番好きなの♡

互いの顔を見つめ合って…  
愛し合っている感じが  
するから あひっ♡

あひっ♡  
あひっ♡  
あひっ♡

あひっ♡  
あひっ♡  
あひっ♡





そんな風に…彼女が  
レスコンをしてくれる  
からだろうか？

俺は少しだけ…  
余裕が出来つつあった

あ  
にゅ  
♡

あ  
ん  
♡  
あ  
ん  
♡



このままマンコの  
内壁にチンポを強く  
擦りつけていったら…

彼女は一体  
どんな顔を俺に見せて  
くれるのだろうか？

しゃべり  
しゃべり

おにゅ  
にゅ  
♡

おにゅ  
にゅ  
♡





も…もっとな動いても…  
いいですか？

ええいいわ…♡  
秋生くんの好きなように  
動い—んひい♡


♡  
♡  
♡

♡  
♡  
♡

♡  
♡  
♡







許しを得た俺は  
息を整えると  
一気にピッチを上げた

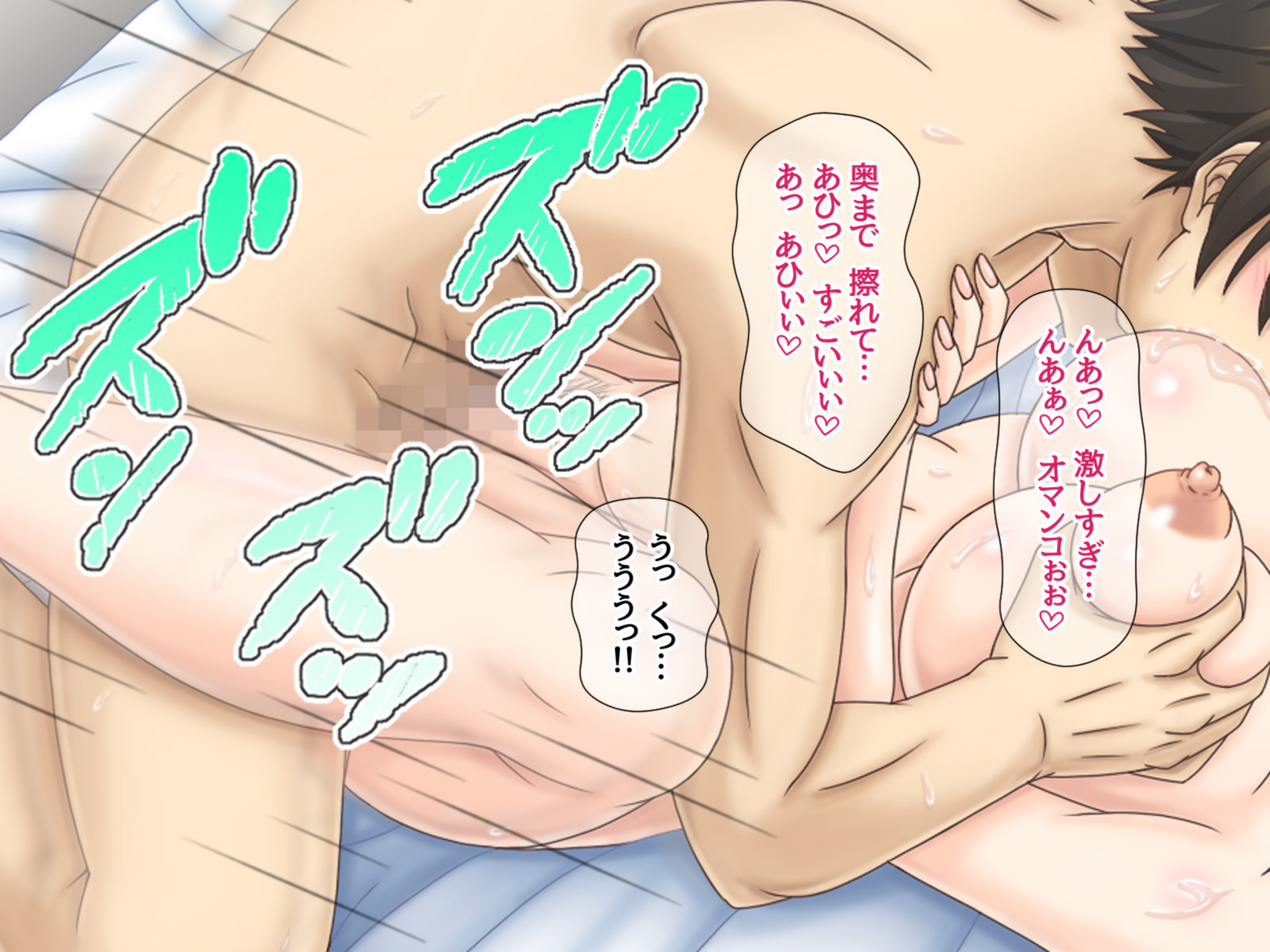
その俺の勢いは  
靖子さんの予想を  
越えていたようだ



んあつ♡ 激しすぎ…  
んああ♡ オマンコもおも♡

奥まで 擦れて…  
あひっ♡ すいっ♡  
あっ あひっ♡

…んっ♡  
…っ♡





彼女も激しく乱れたが…  
俺の興奮も高まる一方だ

快楽を貪るように  
俺はがむしやらに  
腰を振ろう

まじゅ♡

あま♡  
あま♡

ズン  
ズン  
ズン  
ズン





くううつ なんだこれっ  
こんなのキモチ  
よすぎてる...うあああ

余裕があるだなんて  
思っていたのは まだまだ  
俺が甘いただけだった

むにゅ♡

あま♡  
あま♡

ちよつと調子に  
乗っただけで  
すぐにでも限界を  
迎えそうになる

ズッ  
ズッ  
ズッ



んはあっ♡  
あ 秋生くんっ  
もつと…ゆつく♡  
んはああ♡

クツダメだ…  
もう緩められない  
止まらないっくああっ…

あっひい♡  
あ 秋生くんっ  
靖子って呼んでえ♡  
んひいっ♡

あっひい♡

あっひい♡

あっひい♡



緩めるどころか  
スピードは  
上がっていく方

欲望に支配された俺は  
自制する事も  
できなくなっていた

それほどまでに…  
初めて味わうセックスの  
快感は 強烈だった

まじゅ♡

あま♡  
あま♡

ズッ  
ズッ  
ズッ  
ズッ





あぁっ やすい...さっし  
はぁ...はぁっ  
靖子さっしっ 靖子さっしっ!

んあぁっ♡ 秋生くん♡  
秋生くうん♡

もうどちらも  
余裕なんてなかった...  
ただただ相手の  
名前を呼ぶ事しか

あぁ  
あぁ

あぁ  
あぁ  
あぁ



くあつ 靖子さんっ  
イクっ もう俺…  
っっっっっ

あぁっっっっっ  
っっっっっ  
っっっっっ

ワタシのオマンコで…  
あなたの童貞ザーメンっ  
受け止めてあげるからあ

あ  
あ  
あ

っ  
っ  
っ  
っ  
っ  
っ  
っ  
っ  
っ  
っ



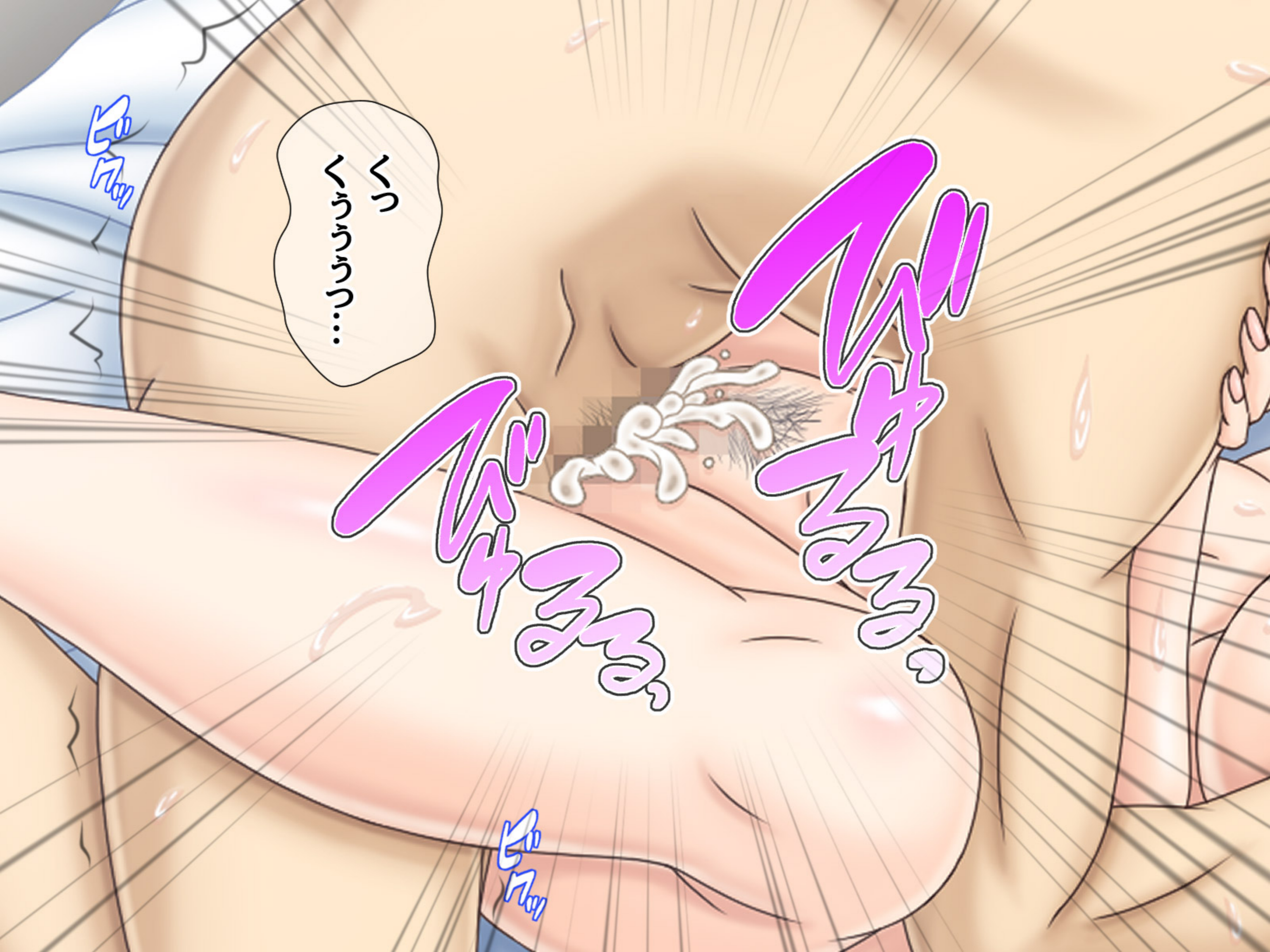
急に靖子さんの膣の  
締めつけが強くなった

もう限界だった俺は  
必死にチンポを  
ピストンし――

あぁあ  
G

あぁあ  
G





...UrrUrrUrr~

アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ

アッ  
アッ



奥まで押し込んだ  
チンポが放った  
大量の精液は…

その全てが靖子さんの  
膣内に  
ブチまけられた

はま  
はま



ぜえっ ぜえっ  
はあ...うん...

はあっ♡ はあっ...ああ  
秋生くん♡ ザーメン  
いっぱい出たわね...♡

はあっ♡  
はあっ♡  
はあっ♡

びゅん

びゅん





ポーっと惚けた顔で  
息をつく靖子さん

靖子……んん……

その口元を 真っ赤な  
舌がペロリと舐め回した


はまら  
はまら

びんびん

びんびん







その唇をその舌を  
味わいたい

俺は欲望のまま  
自分の顔を彼女に  
近づけていった

だがそんな俺の唇を  
彼女の人差し指が  
スツと押し止めた



ウフフツツ…  
ダメよ 秋生くん

なっ 何で…  
セックスはいいのに  
どうしてキスは…

ファーストキスは…  
ちやんと 聡美に  
取っておいてあげて？

はまら  
はまら

びびびび

びび

びび

びび

びび





その名前を  
聞いた瞬間…

俺の身体からスツと  
たぎる欲望が抜けて  
いったような気がした

びびり

びびり

びびり

びびり

びびり

ははは





そう…彼女は  
俺の恋人ではなく…

俺の幼馴染みの母親  
なのだから――

はまら  
はまら

びび  
びび

びび

びび

びび

びび









ああつ  
もうこんな時間つ  
もう行かなきゃ…

お母さんつ  
ごちそーさまつ  
あ…あとコレ  
アキオが食べといて♪





そう言っつて 俺の幼馴染みの  
聡美(さとみ)が 食べ残しの  
朝食を押しつけてくる

サラダとヨーグルトにしか  
手を付けていない所を見ると……  
どうやらダイエット中らしい





もう 聡美つたら...また  
秋生くんに押しつけて...  
朝はちゃんと  
食べないとダメよ?

だつてえ...もうすぐ夏だし?  
そろそろ追い込みかけないと  
間に合わないしっ

って...ヤバっ  
電車に間に合わないっ  
じゃ...行つてきまっす





母親の靖子さんとの  
会話もそこそこ  
聡美は大慌てで  
家を飛び出してゆく

なんでも 部活の朝練が  
あるとかなんとか  
言っていたが…





もう…  
ごめんなさいね？  
秋生くん


あいえ…靖子さんの  
ご飯美味しいから…  
俺的にはご褒美ですよ

うふふ♪ ありがとう  
お世辞でも嬉しいわ♡

本気なのに…





A woman with long, wavy purple hair and glasses stands in a living room. She is wearing a dark blue suit with a white ruffled blouse. She has her hands clasped in front of her. The room contains a white sofa, a wooden coffee table, a television on a stand, and a dining table in the background.

そんな風に笑う彼女は…  
靖子さん 俺が住む  
マンションのお隣さんだ

いわゆるシングルマザーで  
一人娘の聡美と二人暮らし…

そして…俺と聡美の通う  
学校の教師でもある



靖子さんと聡美がこの  
マンションに越してきたのは…  
俺が小学校に上がる頃だった

そんな 女手ひとつで  
娘を育ててる靖子さんに…  
ウチの母は  
聡美の世話を申し出た

それ以来 家族ぐるみの  
付き合いが ずっと  
続いている——のだが…






聡美が小さい頃には  
秋生くんのご両親には  
とてもお世話になったし…

ご両親がお留守の時くらい  
遠慮なくワタシに  
甘えていいんだからね？

はい…





A woman with long, flowing purple hair styled in a bun, wearing glasses and a dark blue, long-sleeved, form-fitting suit. She is standing in a living room, looking back over her shoulder. The room features a white sofa, a wooden coffee table, a television on a stand, and a dining table with chairs in the background.

現在ウチは…  
父親の地方出張に  
母も付いて行ってしまい  
来年の夏まで不在なのだ

そこで…靖子さんが  
俺の食事の世話を  
申し出てくれて…

俺は朝食と夕食を食べに  
お隣に通う毎日を送っていた



それにしても…聡美ったら…  
我が娘ながら  
女らしさには程遠いわね…

コレじゃ秋生くんが  
モヤモヤするのも  
当然…よねえ？

いいえ…  
ですから靖子さん  
俺と聡美は—





んもう…まだ言ってるの？  
なら…どうして聡美の  
下着の匂いを嗅ぎながら…

オチンポをシコシコ  
してたのかしら？

そそれは…





うふふ♪ 判ってるわ…  
あのコワタシに似て…  
色恋に疎いでしょう？

ごめんなさいね？  
だから秋生くんの想いに  
気付いてないのよねえ…


……









A 3D rendering of a laundry room. The room features light green textured walls with a dark wood trim at the top. On the left is a large window with frosted glass. In the center is a brown vanity with a white sink and a mirror. To the right is a light blue top-loading washing machine. A pink laundry basket sits on the floor next to the machine. Two dark red mats are on the floor. A single cylindrical light fixture hangs from the ceiling. A text box is overlaid on the mirror.

—それは  
昨日の晩の事だった



俺はいつもの様に  
夕食をぐっ馳走に  
なつた後・風呂を借りた

いつもは自宅の  
風呂を使うのだが…

最近 靖子さんが  
ハマっているという  
入浴剤を 体験してくれと  
勧められたのだ





その晩は 奇しくも  
聡美が不在で…  
靖子さんと2人きり♡

そして…  
俺は洗濯カゴの中の  
使用済みショーツを手に  
チンポを扱っていた

の  
だが—





っっ!!!

秋生くん？  
タオルをー



いきなり  
開かれたドア

とんでもない姿で  
靖子さんと  
対面した俺は…

まるで全身が  
凍り付いたかの様に  
固まってしまった






…あつ

キヨトンと目を見開き  
俺を見つめる靖子さん

俺は完全に思考が  
停止してしまった







あぁっあのっ…  
コレはですね  
靖子さん…

あ…あのっ  
あのあのっ  
うう…

……



ああ そうよね…  
もっと早く気づく  
べきだったわね…

ポンと手を叩いてから  
靖子さんは  
ダメ人間である俺に  
ゆっくりと近づいてくる

俺は 必死にズボンを  
履こうとしながら  
靖子さんに謝り倒す





すつすみません  
靖子さん！ホントに  
すみませんっ！！

もお…別に謝る  
必要はないのよ？  
秋生くん

そうよねえ…  
秋生くんも  
もうそういう  
お年頃…だものね…





や靖子さん…？

一応聞いておくけれど…  
秋生くんって…童貞？

そっそれは—





うふふ♪  
恥ずかしがる  
事なんてないわよ？

ううう...

…うん わかったわ  
こうなったら 面倒…  
見ちやいませよ♪

…は？  
面倒…？





いい秋生くん…  
よく聞いてね

はっ…はい？

初めて同士っていうのはね  
失敗しやすいものなのよ…

なっ…何ですか  
いきなり!?





何って…初めての  
セックスの事よ？

聡美だって…  
たぶん 処女だもの  
2人とも初めてじゃ…  
失敗しやすいって話よ

なっ!?





だからね？ 男の子は  
ちやんと女の子を  
リードできる様に…  
事前に練習をしておくの

経験豊富な人妻や…  
ワタシの様な  
バツイチ相手にね♡

なっ!?





ああこれは戦前の頃までの  
農村部では当たり前に行  
われてきた『行事』なの

それだけ子作り…  
夫婦生活におけるセックスを  
重要視していた…というワケね

っつ子作り!?





だから…ね？  
秋生くんの  
ガス抜きを兼ねて…

わたしが面倒をみて  
あげても…いいのよ？

やつ 靖子さんが…  
俺に!?





さあ…いらっしやい？  
秋生くん♡

そんな靖子さんからの  
申し出を…  
俺が断るはずもなく…

靖子さんの言うがままに…  
童貞を捧げたのだった—







とはいえ…聡美も  
あなたもまだ学生だし…

だから…聡美がね？  
身体も心もちやんと  
準備が出来てからに…  
して欲しいのよ

その…あなたたちの  
性行為は…





…や靖子さん  
でも俺は——

うんうん 判ってるわ…  
あの子 なんと…  
隙が多いのよね

あなたにボディタッチとか  
平気でするし…秋生くんが  
ムラムラするの…当然よね





だからね？  
昨日みたいにな...

ワタシでよかつたら  
また...オンナの身体の事  
レッスン...してあげるから

聡美に手を出すのは  
もうしばらく  
我慢して欲しいの

.....



そう 俺は昨夜…  
ショーツでオナつている  
ところを靖子さんに見られ…

その流れで彼女から  
性欲発散を兼ねた  
セックスのレッスンを  
受けたのだ

だが  
靖子さんは…





ええと…  
その幻滅しちゃった？  
あんな事をする  
ワタシに…

…いえ 俺にとっては  
最高の体験でした

ほっ よかった…♡





うふふ  
実はね…ちよつと  
後悔してたのよね…

あなたの初めてを…  
ワタシみたいなおバサンが  
貰ってしまつて…

でもね？  
初めて同士っていうのは  
失敗しやすいものなの  
だから——んむっ









んむうっ  
んっちゆく…  
あ秋生…くんっ!?

くっくっ  
くっくっ

チュッ…チュクッ  
違う…違うんですっ

ち 違うって…んちゆう  
だだめっ…んな…のお

あ  
あ





ちゅっ ねろっ♡  
ハアっ ハアっ…  
お俺が好きなのは…  
聡美じゃありませんっ

え…？

キキキキ  
キキキキ

キキキ

俺が好きなのは…  
靖子さんっ  
あなたなんですっ



俺は靖子さんを壁際に  
追いやる…いわゆる  
『壁ドン』の格好で  
強引にキスをした

それは…靖子さんに  
取っておくように言われ…  
昨夜は拒まれてしまった…

正真正銘…俺の  
ファーストキスだった



あ...あ...  
あ...あ...

ちゅっ くちゅ...♡  
ああっ 靖子さんっ  
好きだっ 大好きだっ

んちゅ...ちゅ...  
ああらめえ...  
お願い...止めてえ  
秋生...くうん

何故ですか？ 昨日は  
セックスまでさせて  
くれたじゃないですかっ



だっ...  
あ...あ...

あ...あれはあくまで  
聡美の為に...あなたに  
自信をつけてあげたくてえ

でも...俺は靖子さんが  
好きなんですっ 靖子さんは  
俺の...初恋の人だからっ

う 嘘...んちゆう  
くちゆう...ああ そんな  
イヤらしいキスう  
らめ...なのお♡





靖子さんはそんな俺を  
何とか押し戻そうとするが...  
その力は弱く 儂かった

それは...勢いだけの  
無我夢中のキスだった...



あ...あ...  
あ...あ...

んちゅ...ちゅう♡  
らめえ♡こんなキス  
されたら...ワタシいい

クチュ...♡  
それに...もう俺  
忘れられないんですっ  
靖子さんの身体...

最高でした♡ 白い肌も...  
よく締まるオマンコも...  
そして大きなオツパイもっ



やっ ああああ……らめっ  
そんな……ああっ

昨日……このオツパイを  
揉めたときは……まるで  
夢みたいになんて幸せでした

なにや

だからもう……俺は  
手放したくないんですっ  
大好きな……靖子さんの事をっ



ちゅう…くちゅ♡  
ああ…でもダメ…

ワタシとあなたがいつたい…  
何歳離れてると思ってるの？

くちゅ♡  
くちゅ♡  
くちゅ♡

なにが？

ね…？こんなオバサンの  
事なんて忘れてもつと  
若い娘と——んむうつ!?



でも靖子さんの「フ」…  
もうっくんなに  
濡れてますよね？

そそれは…

ええ…昨日 靖子さんに  
教えて貰いました ヨコが  
どうして濡れるのか…って

んっ…

なに？

んっ…



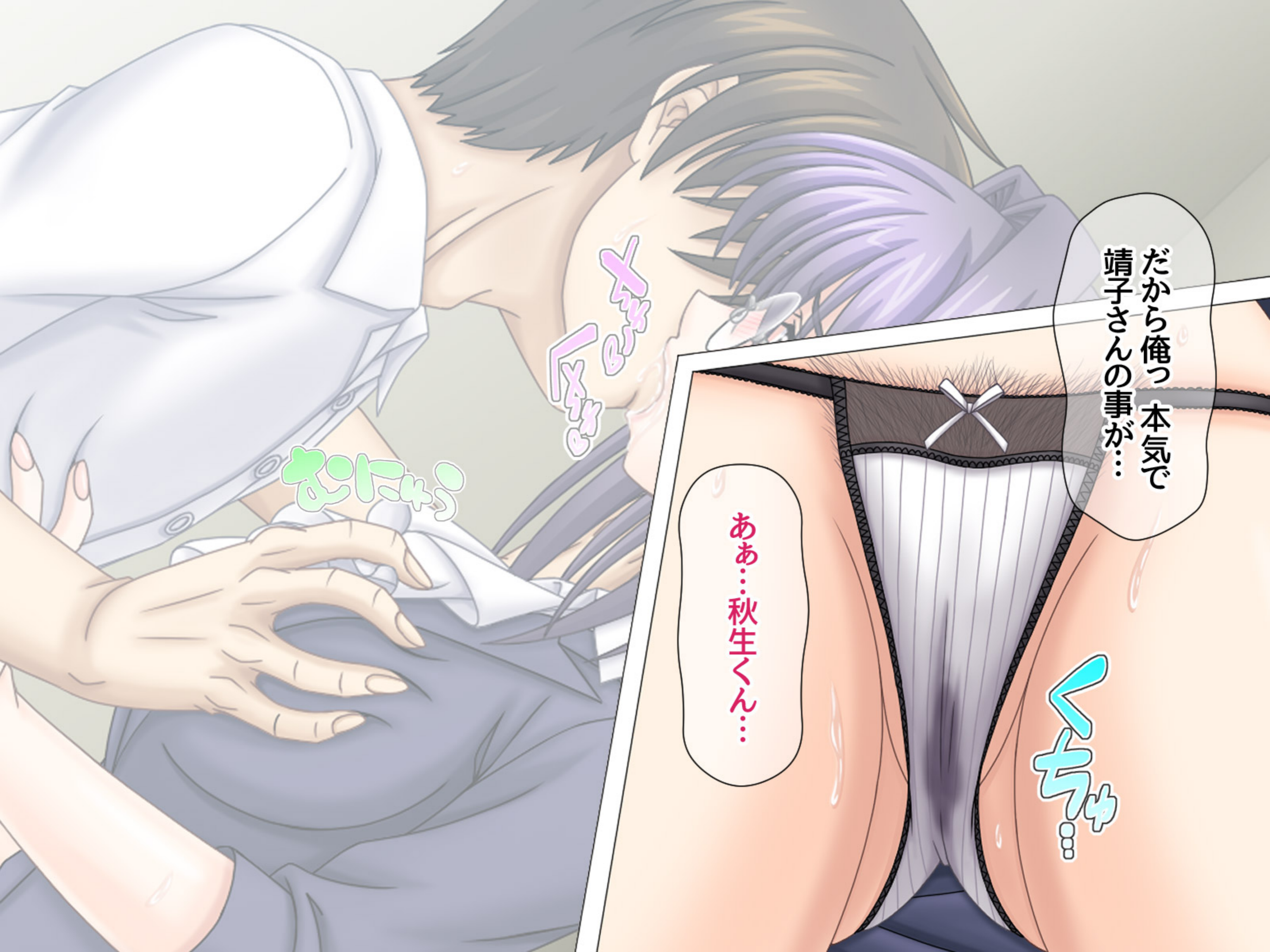
だから俺っ本気で  
靖子さんの事が...

ああ...秋生くん...

くちゅ...

くちゅくちゅ

なにが





はまら

はまら

はまら  
はまら

靖子さんはうっとり  
眼を細め 俺に舌を  
絡め返してくれた

すると…靖子さんの  
身体から強ばりが抜け…

もみ

もみ



ああ…  
靖子さん…♡

くちゅ…ちゅ♡  
ああ…秋生くん  
悪い子…なんだからあ

くちゅ♡  
くちゅ♡

ちゅ♡でも…  
靖子さん 俺は—

もみ

もみ







靖子さんはそう言っ  
て俺にひとつの約束をさせた

その約束とは…





ああっ♡ 男性の指の  
キモチよさなんて…  
ずっと忘れてたの♡♡

や 靖子さん♡♡

んあああっ♡  
こんなキモチいいのっ  
ひさしぶりなの♡♡

ぐちゃぐちゃ

バツイチ女教師は  
俺に優しい  
中出し専用穴♡



靖子さん…  
カワイイ♡

大好きですよ…  
ちゅ♡

んちゅ…くちゅ♡  
ららめえ♡好き…  
なんていっちゃ…

ワタシみたいな  
オバ—んむ♡  
くちゅ…あああ♡

はぁ♡  
はぁ♡

バツイチ女教師は  
俺に優しい  
中出し専用穴♡





あぁぁぁ♡

あぁぁぁ♡

奥まで…んっ♡  
しっかり届いて…

んっ♡んっ♡  
はぁぁん♡  
すげえ…♡

そ…それに  
ごりごり♡つて  
ナカあ…  
んぁぁっ♡

んっ♡

んっ♡

バツイチ女教師は  
俺に優しい  
中出し専用穴♡



# バツイチ女教師は

今度は…  
膣<sup>なか</sup>内<sup>か</sup>でね♡

原画：志水なおたか  
シナリオ：身から出た鯖

挿入

基本画像12枚+立ち絵8体  
差分を含め 総CG枚数400枚

# 俺に優しい

# 中出し専用穴♡